

■効能・効果

乗物酔いによるめまい・吐き気・頭痛の予防及び緩和

■用法・用量

乗物酔いの予防には、乗車船 30 分前に下記の量を口中で溶かして服用してください。

年 齢	1 回量	服用回数
1 1 歳以上	1 枚	1 日 2 回まで
1 1 歳未満	服用しないこと	

なお、必要に応じて追加服用する場合には、1 回量を 4 時間以上の間隔をおいて服用してください。1 日の服用回数は 2 回までとしてください。

＜用法及び用量に関連する注意＞

- (1) 定められた用法・用量を厳守してください。
- (2) このフィルム剤は、以下のように服用してください。
 - ①図のようにアルミシートを両方向へ広げるように開き、そのまま口に近づけ、直接お薬（フィルム）を口に含みます。（アルミシートごと飲み込まないでください。食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながるおそれがあります。）
 - ②お薬（フィルム）を舌の上にのせ、だ液で湿らせ、溶けた後だ液のみで服用することができます。
- (3) このお薬（フィルム）はすぐに口の中で溶け出しますが、万一、のどにはりついてしまった場合には水で流し込んでください。また、だ液が少なく服用しにくいときは水を口に含み、溶かしながら服用してください。
- (4) 本剤に濡れた手で触れないでください。
- (5) 11 歳未満の小児は本剤を服用しないでください。
- (6) 小児（11 歳以上 15 歳未満）に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。修学旅行などに持たせる場合には、事前に用法、用量など服用方法をよく指導してください。



■成分・分量

成分	分量（2 枚中）	はたらき
d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	2.66mg	自律神経に働き、乗物酔い症状を予防・緩和します。
スコポラミン臭化水素酸塩水和物	0.332mg	乗物によって起こる感覚の混乱を軽減します。

〔添加物〕プルラン、トウモロコシデンプン、濃グリセリン、結晶セルロース、酸化チタン、アセスルファムカリウム、スクラロース、ポリソルベート 80、タウマチン、香料

■保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わることがあります。）
- (4) アルミシートや中身のフィルムが破損しないように、保管及び携帯に注意してください。
- (5) アルミシート開封後はすみやかに服用してください。
- (6) 使用期限（外箱及びアルミシートに記載）を過ぎた製品は服用しないでください。

本剤についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店又は下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

樋屋製薬株式会社
〒574-0014 大阪府大東市寺川 3-3-63
お問い合わせ先（お客様相談室） 072-871-2990
受付：月～金曜日（祝日を除く）9:00～17:30
<http://www.hiyakiogan.co.jp/>

製造販売元



ツキオカフィルム製薬株式会社

岐阜県各務原市テクノプラザ 2 丁目 11 番地

発売元



樋屋製薬株式会社

大阪府大阪市北区天満 1 丁目 4-11

この添付文書は、お薬とともに保管し、ご服用の際には、必ずお読みください。

乗物酔い薬

第 2 類医薬品

ヒヤ乗り物酔いどめフィルム

〔特徴〕

ヒヤ乗り物酔いどめフィルムは乗り物酔いによるめまい・吐き気・頭痛の症状を予防する d-クロルフェニラミンマレイン酸塩とスコポラミン臭化水素酸塩をフィルム状の製剤に閉じ込めたお薬です。かさばらない薄型の製剤・包装です。財布や定期入れなどにもはさんで携帯でき、外出時など場所を選ばずに水なしでのむことができます。

⚠ 使用上の注意



してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります。）

1. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないでください。
他の乗物酔い薬、かぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、胃腸鎮痛鎮痙薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等（鼻炎用内服薬、アレルギー用薬等）
2. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。
（眠気や目のかすみ、異常なまぶしさ等の症状があらわれることがあります。）
3. 11 歳未満の小児は本剤を服用しないでください。



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
 - (1) 医師の治療を受けている人
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - (3) 高齢者
 - (4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - (5) 次の症状のある人：排尿困難
 - (6) 次の診断を受けた人：緑内障、心臓病
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
精神神経系	頭痛
泌 尿 器	排尿困難
そ の 他	顔のほてり、異常なまぶしさ

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白く見える、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらくとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
口のかわき、便秘、眠気、目のかすみ